

(別添2)

No.	1
策定年月	令和5年6月
見直し年月	—

水田農業高収益化推進計画
広島県廿日市市産地推進計画

1 計画作成主体の情報

名称	廿日市市地域担い手育成総合支援協議会
構成機関・団体名及び役割分担	○構成機関・団体名 1 廿日市市 2 廿日市市農業委員会 3 ひろしま農業協同組合・佐伯中央地域本部 4 広島県（関係地方機関、普及指導組織） 5 1から4の会員のほか、活動に必要と認められる機関・団体を参加させることができる ○構成機関・団体が連携して、農業の担い手及び農用地に対する施策を総合的に実施することにより、効率的かつ安定的な農業経営及びこれを目指して経営改善に取り組む農業経営者の確保育成を図るとともに、農地の有効利用を図っていくことによって、望ましい農業構造の確立等に資する

2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地／施設	産地名	目標							
				作付面積		収量		販売額		その他	
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値
ほうれんそう	生食用	施設	佐伯地区	実面積 2.4 ha (延べ面積) 9.5 (令和4年)	2.4 ha 10.7 (令和9年)	751 kg/10a (令和4年)	911 kg/10a (令和9年)	38,189,106 円 (令和4年)	54,363,955 円 (令和9年)		

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地／施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に、●●農協、●●集落、●●学区など、一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けに取り組む範囲が分かる名称を記載すること。

※ 設定した目標値の妥当性がわかる資料（県や地域の統計など）を添付すること。